

## 平成19年度 教師海外研修(派遣国:マレーシア)実践報告書

1. タイトル 高等学校における授業実践事例と幅広い活用事例
2. 氏名 金田修治
- 学校名 大阪府立三島高等学校 担当教科 社会科
3. 実践教科 現代社会・地理 時間数 各時間完結1時間もの
4. 対象生徒・学年 1年・3年 人数 244名
5. カリキュラム案

### (1)実践の目的

教師海外派遣にてマレーシア・コタキナバル(ザバ州)・ダガット村で得た、貴重で豊富な体験を各科目のねらいに沿った観点で、単発的な一校時(50分)の教材として、できる限り有効に活用することを実践の目的とした。そのためには、何回かのシリーズ的に組み立てた教案ではなく、各時間完結型の教材として、パワーポイント・映像・インターネットといったICTを駆使し、実践することをベースに、できる限り生徒の学びを促す配慮として、クイズ形式・フォトランゲージ等を取り入れて構成した。本年度多機能マルチメディア化・大規模改修がなった本校社会科教室を活用し、プレゼンテーションを中心とした新しい授業形態を追求することも実践の目的とした。

### (2)授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
【現代社会】1年 160名 【地理B】3年 84名 ームスリムの生活ー 第1編 4章 私たちの生活と宗教や芸術・宗教と文化摩擦をテーマに、日常生活で接触の少ないムスリムの生活をマレーシアのムスリム社会の実際から生徒の理解を促す。 総合学習でも利用可能	研究授業1 本校が受けている文部科学省学力向上拠点形成事業指定校の年度計画にある教員の授業力向上のための公開研究授業として実施。  詳細・指導案あり	教科書・資料集・パワーポイント 「ムスリムの生活」・クイズ解答用紙・ワークシート・ビデオクリップ(アザーン)
【現代社会】1年 160名 【地理B】3年 84名 ーカンボンの生活ー 生徒に対する、本派遣報告を兼ねて、現代社会と地理の観点を踏まえ、熱帯雨林の村の生活の実際を紹介し、地球環境問題を考えさせる。 総合学習でも利用可能	試験後の時間を利用し、1年生は1学期既習の環境問題に繋げ、3年生地理でも地球環境問題の一環として、熱帯雨林の村の生活の現状を紹介し、地球環境問題の根っこのところを考えるきっかけとした。 詳細・パワーポイントは別添ファイル	教科書・資料集・パワーポイント 「カンボンの生活」・クイズ解答用紙・ワークシート ・生徒の事前の質問に答える形で村の生活のイメージを掘り下げて紹介した。
【現代社会】1年 160名 第2編 現代の経済社会と私たちの生活 ー食糧がなくなる パームオイルのバイオ燃料利用と世界経済ー	研究授業2 上記指定事業の協議会の一環として、かつ、上述教室改修事業の教室活用実践として実施 全面改修なり、プロジェクター・スクリーン・インターネット等常設の社会科教室のICT	教科書・資料集・パワーポイント 「食糧がなくなる・パームオイルの来し方行く末」・クイズ解答用紙・ワークシート・宿題パームオイル調べ・ビデオクリップ

経済理論の説明後、実際の世界経済の動きの一事例として扱った。	機材を駆使して、今年の食糧値上がりの背景と世界経済の動きを理解させる。 詳細・指導案は別紙	動画クリップも挿入し、ビジュアルに学習できる工夫を取り込んだ。
【地理B】3年 84名 ーマレーシアの歴史ー 地理・東南アジアの単元での導入として、マレーシアの歴史・日本とマレーシアの関係について説明した。 歴史でも利用可能	マレーシア国立博物館正面左右壁画の写真を教材にマレーシアの歴史と日本とマレーシアの関係をパワーポイントにて説明。 HPを利用しマレーシアの歴史教科書の記述についても言及し、日本軍の動きとマレーシアの国民感情について、歴史的視点から学習させた。からゆきさん時代の日本の外貨獲得の実際と日本の発展にも言及した。	教科書・資料集・パワーポイント 「マレーシアの歴史」・クイズ解答用紙・ワークシート
【地理B】3年 84名 ブミプトラ政策を考える 地理・東南アジアの単元で、多民族国家マレーシアの学習にてマレー人優遇政策＝ブミプトラ政策とそれを現地で確認した視点から説明した。	多民族(マレー人・華人・インド人)によって構成されているマレーシア社会の持つ課題を浮き彫りにし、あわせて先発発展途上国マレーシアの諸問題を提示し、今後の発展への課題を考えさせる。他の教材同様にパワーポイントを中心に授業を展開した。	教科書・資料集・パワーポイント 「ブミプトラ政策」・クイズ解答用紙・ワークシート

## その他として

JICAの教師海外研修の体験を広く大阪府の社会科教員に知らせ、我々の研修の意義と実践を理解し活用していただくために、さらには一人でも多くの派遣希望者が後に続き、この派遣の趣旨が拡大することを願って、自分が所属する大阪府高等学校社会(地歴・公民)科研究会での報告や発表を行った。

### ①社会科研究会地理部会経験交流会 JICA 海外教師研修報告

社会科研究会の地理教員の部会にて経験交流会の発表者として、発表(45分)

次年度の研究会 60周年記念ボルネオ海外研修旅行の説明会も兼ねる。

### ②歴史研究会にて

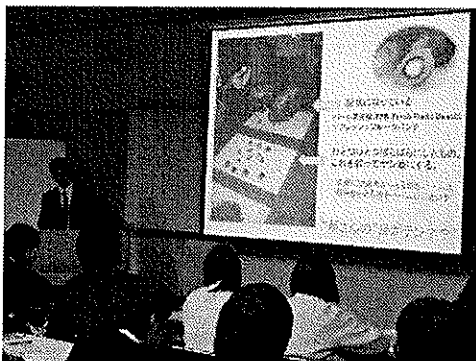
上記教案マレーシアの歴史(プレゼン教案)の検討と参加者へのコンテンツ提供による教案の共同開発を試みた。議論の中で、スライドを整理し、①てい和の南海遠征をベースにマレーシアとアジアとのつながりを②日本軍の動きをベースに東南アジア現代史の意義を掘り下げるべきだとの指摘をいただいた。

## 6. 授業の実際

### ・どのような教材を用いたか

- ① マレーシア派遣の際に現地で購入した現物:軍票・マレーシアの紙幣・パームヤシの絵はがき・マレーシアの切手・マレーシア航空のお祈りの仕方パンフレット・現地で配られていたランチのチラシのハラマークと現地の物価・クルアーン・ニツパヤシ・ハッジの帽子・ラットさんの漫画
- ② 現地で撮影した写真
- ③ パームヤシ関係の番組(事前に録画した)をビデオクリップに加工したもの  
所さんの目がテン・宇宙船地球号・ライオンのCM
- ④ 宿題パームオイル調べ(生徒に食品の成分を調べさせ、成分にパームオイルと記入されているものをもってこさせた。)

## ・どのような授業を行ったか



- ① 授業形態は、ICTを活用したプレゼン授業を原則とした。
- ② 原則として一回完結のスタイルとして、実際に学習中の単元に組み入れる形で教案を作成した。
- ③ できる限りビジュアルにということ意識し、ビデオクリップをパワーポイントで見ている写真からリンクしたり、効果的に写真を配置したりして、ムスリムの生活の特徴・パーム椰子プランテーションの実際・熱帯林の破壊の現状やそれを取り巻く社会環境などを織り込む工夫

をした。

ムスリムの生活では、現地で偶然に撮影できたビデオクリップが大変効果的であった。

- ④ クイズ形式、設問・投げかけを多用し、できる限り生徒が自ら考える仕掛け織り交ぜるように工夫した。
- ⑤ 宿題にパームオイル調べを課し、事前に生徒の興味を促すことを試みた。

### ・ 生徒の反応、評価は？

どの教案も生徒の反応はきわめてよかった。特にムスリムの生活については、マレーシアではフォーマルなバティックのシャツとハッジの白い帽子、マレー語での挨拶から授業に入ったことで生徒を大いに引きつけることができた。また、説明の中にムスリムクイズという形でムスリムの生活をより深く理解できるように工夫したことも生徒の興味の拡大につながったといえる。研究授業②に関してはかなり準備に



時間を割いたこともあり、内容的に濃いものに仕上がりに実質的に2時間分を凝縮し1時間でやってしまった感じであった。いずれのビデオクリップも捨てがたく、欲張ってしまったところに原因があり、反省点である。その研究授業対象クラス以外についてはゆとりをもって2時間でその教案を終えることができた。

### ・ 私自身の所感・反省点

自分の中で、マレーシアおよび今回の教案への思い込みが強くなってしまい、教材を精選することができなかった点が反省点としてあげられる。全体の授業計画の中で、いかにうまくこの海外派遣で得たものを取り込んでいくかが、まさに熟練と工夫の集成であるように思われる。海外派遣研修の事前にもっと教案を練ることも可能かとも思われるが、行ってみないとわからないことや現地での新たな収穫も多く、そのあたりが教科の中で海外派遣の題材を教材化するひとつの壁かもしれない。生徒には総合学習や個人の報告という形の特別授業のほうが様々な問題提起が可能で馴染みやすいのかもしれない。私が社会科の研究会で報告したり、次年度のボルネオ研修旅行の募集を兼ねた学習会を実施したりすることなどは、授業場面とは違うが、結果的に他の教員の興味関心を高め、大いに啓発や広報の可能性があるのでないだろうか。いずれにしても夏以降、いや事前研修以降、この海外派遣とその後の授業実践を大いに楽しめたいし、すばらしい経験になったことを申し添えておきたい。

### ・ 今後の改善策など

今後も引き続きマレーシアや熱帯林の喪失による地球規模の環境や経済の問題を幅広く取り上げていきたい。その際、今回の反省を生かし、できる限りねらいを絞り、使いたい教材は沢山あっても、そのねらいに合致した教材を効果的に取り扱い、教案を作成していきたい。また、マレーシアや熱帯林に関するパワーポイント教材を沢山作成した。この教材の共有化すなわち、教員同士の使い回しが可能であればどんどん使ってもらい、ただし、改良・改善したものは、またその教員から提案・知らせていただくという形での共同開発を進めていきたい。その中で、参加した教員や参加してはいるがこの問題に興味や関心を深めた教員が連携できることを切に願っている。

- ・ 研究授業②の指導案
- ・ 紙面の関係上展開のみを掲載します。

	学習内容・学習活動	指導上の支援・留意点	評価の観点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近の食品値上げ(讃岐うどん・インスタント麺)の例を提示し、前回までの経済用語の復習を踏まえながら、何故値上げが起こっているのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のテーマを生徒に投げかけ、発問により少しの間考えさせ、本時の学習の内容を各自にしっかりと認識させる。</li> <li>・ 新聞記事を使用し、現実の問題としてとらえる。</li> </ul> <p>【パワーポイント・新聞記事使用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代の経済社会の諸事象に対する関心が高まっている。</li> </ul> <p>(関心・意欲・態度)</p>
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 値上げの背景を知り、原因の問題点を整理する。</li> <li>・ 背景には人口増加に伴う食糧増産と石油代替エネルギーへの転用という矛盾する二つの問題があることを理解する。</li> <li>・ 原因の分析のために、パームオイルの問題を通じて、環境問題にも配慮した問題解決の姿勢を考える。</li> <li>・ 宿題の成分調べを数名が発表する。</li> <li>・ “見えざる油”パームオイルの利用の実態を把握し、バイオ燃料化の意味を環境問題を踏まえて考える。</li> <li>・ パームヤシは環境に優しいのかどうかをフローチャートの整理させ、国際間のステークホルダーの存在に気づかせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 値上げの問題をパームヤシを例として取り上げ、クイズ形式で生徒に問いかけを行う。</li> </ul> <p>【クイズ問題使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA教師海外派遣で取材したパームヤシをめぐる諸問題を紹介する中で、環境破壊の問題にも意識を向けさせる。</li> <li>・ その際、パームヤシ(実物)・搾油工場(写真)等を使用する。</li> <li>・ パームオイル・植物油脂が使用されている商品の実物を提示し、使用の幅の広さを知らせる。</li> <li>・ DVDを使用し、「環境に優しいとは」ということをイメージさせ、次回への宿題に関心をもたせる。</li> <li>・ パームヤシは環境に優しいのかどうかをフローチャートの示し、国際間のステークホルダーのインセンティブを踏まえて全体を見渡せるヒントを与える。</li> </ul> <p>【パワーポイント・DVD・インターネット使用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代の経済社会の諸事象から課題を見だし、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。</li> </ul> <p>(思考・判断)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パームヤシクイズに積極的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>(関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DVD視聴への関心、課題達成の意欲がある。</li> </ul> <p>(関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステークホルダーの存在とそれぞれの立場の違いを比較している。</li> </ul> <p>(思考・判断)</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本用語を中心とした確認テストで本時の確認チェックを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までに学習済みの基本用語を織り交ぜて、実際に使われている場面を認識させた上、重要な事項を確認テストでチェックさせる。</li> <li>・ 解答を提示することで自分の理解度を自覚させる。</li> <li>・ スピーディーな採点・集計のためにICTを活用する。</li> <li>・ 次回へ向けて、考える宿題を提示する。</li> </ul> <p>【パワーポイント使用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済の基本用語について理解し、その意味を身に付けている。</li> </ul> <p>確認テスト</p> <p>(知識・理解)</p>

## 5 使用テキスト等

- ・ 教科書『第一学習社 高等学校現代社会』・資料集『実教出版 資料現代社会 2005』